



代表理事
橋本
文徳

放課後等デイサービス
ひだまり
HIDAMARI
一般社団法人 **沙羅の木**
放課後等デイサービス **ひだまり**
大分県大分市田中町2丁目11番1号
URL: <https://hidamari-oita.com>

自信を持ち、生きる力につなげる—— 子どもたちの明るい未来を支える施設



発達障がいのある子どもたちの療育をサポートする『ひだまり』。必要な支援のほか、創作・体験・地域交流などを通して自身の長所を見出し、伸ばしていけるような方針をとっている。また保護者や学校との連携にも重きを置き、開所から間もないながら明るい笑顔が絶えない施設だ。そんな同施設の橋本代表に、タレント・書道家のおさる氏がインタビューを行った。

——橋本代表は、どういったきっかけで福祉分野に進まれたのですか。

私はもともと教員をしていて、子どもと関わるのが好きでした。その中で、親御さんが上手く育てることができない子どもたちがいることを知ったんです。色々な事情がありますが、そうした子を1人でも救いたいと思い、妻とも相談して里親になったんです。その子は立派に育ってくれていますよ。そうした経緯もあって、徐々に子どもたちの教育だけでなく、福祉についても学ぶようになりました。そこから発達障がいのある子どもに注目するようになったんです。

——教員時代にも、発達障がいのある子どもと接する機会はあったのですか。

ありました。上手く周りと交流を図れなかったり、就職など社会への適応が難しくなったりするケースを目にしました。そして私なりに考えを巡らせ、たとえ障がいがあっても、その子が自分に自信を持てるよう周囲が後押しすれば、きっと生きる力は身に付くと思ったんです。そうして放課後等デイサービス『ひだまり』を立ち上げました。当施設では、「できることを増やし生きる力を育む」をスローガンに掲げています。

——事業所名にふさわしい、とても前向きなスローガンですね。

ありがとうございます。発達障がいの

ある子は、秀でている能力があったり好きなことに対する集中力がすごかったり、優れた部分がたくさんあります。私たちは、そうした長所を伸ばす方針をとっているんですよ。スタッフの皆にも、「その子の良いところを見つけて認めよう」と伝えています。短所を克服するよりも、良いところを伸ばしていくことで自分に自信を持つてほしいんです。それで周りからも「すごいね!」「こんな能力があったのか」など褒めてもらえれば、良い循環になります。施設はまだ1年目ですが、日に日に子どもたちが明るく変化しているのを感じていますよ。

——そうした積み重ねこそが、生活能力になるのでしょうか。素晴らしい方針だと思います。

学校や保護者さんとの関係づくりも大切にしています。保護者さんも子育てとどのように向き合うべきか悩む中で、多くの不安を抱えておられます。そこをサポートするのも我々の役割ですし、保護者さん同士で交流できる場を設けて、同じ悩みを共有できるコミュニティづくりも行っています。また、本当は学校に対しても色々と相談したいけれど言いにくい、と感じておられる保護者さんもおられます。そうした場合は、私に相談していただければ学校関係者とお話しし、間をつなぐことも可能です。長年教員を務

めてきたからこそ連携できる部分もあるので、悩まずお気軽に相談していただければ嬉しいです。

——保護者さんにとって、これほど心強い存在はないですね。

子どもたちは毎日すごい勢いで伸びていきますから、私たち大人も日々学び成長する必要があります。スタッフの皆にも、常に広い視野を持ち色んなことを吸収しようと言っています。子どもたちを伸ばす立場だからこそ、私たち自身も常に伸びていなければいけないんです。そしてできることを一生懸命行い、当施設を巣立った子どもたちが将来どんな風に生きていくか。それを見届けるのが楽しみです。

(取材／2023年7月)

対談を終えて
ゲスト

おさる



「スタッフさんも、保育士や教員などの資格を有している方ばかりが揃っているそうです。明るく過ごせそうな施設の雰囲気があり、優秀なスタッフさんや情熱的な代表がおられるのですから、どんな入所希望者は増えていくでしょうね」